

医薬事業 臨床開発品目一覧（2016年10月31日現在）

<自社開発品>

開発番号 (一般名)	想定する 適応症/剤形	作用機序		開発段階	備考
エムトリンタピン/テノホビル アラフェナミドフマル酸塩配合錠	HIV感染症 /経口	逆転写酵素阻害	HIV(ヒト免疫不全ウイルス)の増殖に関わる酵素の働きを核酸系逆転写酵素阻害剤により阻害し、ウイルス量を低下させる	国内:申請中	導入品 (Gilead Sciences社)
JTT-851	2型糖尿病 /経口	GPR40作動	グルコース依存的にインスリン分泌を促進し、高血糖を是正する	国内:Phase2 海外:Phase2	自社品
JTZ-951	腎性貧血 /経口	HIF-PHD阻害	HIF-PHDを阻害することにより、造血刺激ホルモンであるエリスロポエチンの産生を促し、赤血球を増加させる	国内:Phase2 海外:Phase1	自社品
JTE-052	自己免疫・アレルギー疾患 /経口・外用	JAK阻害	免疫活性化シグナルに関与しているJAKを阻害し、過剰な免疫反応を抑制する	国内:Phase2	自社品 鳥居薬品と共同開発
JTE-051	自己免疫・アレルギー疾患 /経口	ITK阻害	免疫反応に関与しているT細胞を活性化するシグナルを阻害し、過剰な免疫反応を抑制する	海外:Phase1	自社品
JTT-251	2型糖尿病 /経口	PDHK阻害	糖代謝に関与するピルビン酸脱水素酵素(PDH)を活性化し、高血糖を是正する	海外:Phase1	自社品
JTK-351	HIV感染症 /経口	インテグラーゼ阻害	HIV(ヒト免疫不全ウイルス)の増殖に関わる酵素であるインテグラーゼの働きを阻害し、ウイルス量を低下させる	国内:Phase1	自社品
JTE-451	自己免疫・アレルギー疾患 /経口	ROR γ アンタゴニスト	Th17細胞の活性化に中心的な役割を担うROR γ を阻害し、過剰な免疫反応を抑制する	海外:Phase1	自社品
JTT-751 (クエン酸第二鉄水和物)	鉄欠乏性貧血治療薬 /経口	経口鉄剤	鉄が消化管から吸収され、体内で赤血球中のヘモグロビンの成分として使用され、鉄欠乏性貧血を改善する	国内:Phase2	導入品 (Keryx Biopharmaceuticals社) 鳥居薬品と共同開発 *効能追加

(注)開発段階の表記は投薬開始を基準とする

<導出品>

一般名等 (当社開発番号)	導出先	作用機序		備考
trametinib	Novartis社	MEK阻害	細胞増殖シグナル伝達経路に存在するリン酸化酵素MEKの働きを阻害することにより、細胞増殖を抑制する	(適応:非小細胞肺がん/dabrafenibとの併用) 米国・欧州 申請中
抗ICOS抗体	MedImmune社	ICOSアンタゴニスト	T細胞の活性化に関与しているICOSの働きを阻害し、免疫反応を抑制する	
JTE-052	LEO Pharma社	JAK阻害	免疫活性化シグナルに関与しているJAKを阻害し、過剰な免疫反応を抑制する	
JTZ-951	JW Pharmaceutical社	HIF-PHD阻害	HIF-PHDを阻害することにより、造血刺激ホルモンであるエリスロポエチンの産生を促し、赤血球を増加させる	

前回公表時(2016年8月1日)からの変更点

<自社開発品>

- ・エムトリンタピン/テノホビル アラフェナミドフマル酸塩配合錠(F/TAF配合錠):国内における製造販売承認申請を実施(2016年8月12日)
- ・JTE-052 鳥居薬品との共同開発を開始

<導出品>

- ・JTZ-951: JW Pharmaceutical社へ腎性貧血の経口治療薬として、韓国での独占的開発・商業化権を導出(2016年10月14日)